

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2014年1月5日聖日礼拝

---

年頭礼拝に臨み  
「私の前に主を置く」

詩編16篇1 - 11節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

### 詩編16章 1 – 11節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp841~/ 第三版の聖書はp917~

- 1 神よ。私をお守りください。私は、あなたに身を避けます。
- 2 私は、主に申し上げました。「あなたこそ、私の主。私の幸いは、あなたのほかにはありません。」
- 3 地にある聖徒たちには威厳があり、私の喜びはすべて、彼らの中にあります。
- 4 ほかの神へ走った者の痛みは増し加わりましょう。私は、彼らの注ぐ血の酒を注がず、その名を口に唱えません。

- 5 主は、私へのゆずりの地所、また私への杯です。あなたは、私の受ける分を、堅く保っていただきます。
- 6 測り綱は、私の好む所に落ちた。まことに、私への、すばらしいゆずりの地だ。
- 7 私は助言を下さった主をほめたたえる。まことに、夜になると、私の心が私に教える。
- 8 私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。

- 9 それゆえ、私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいゝる。私の身もまた安らかに住まおう。
- 10 まことに、あなたは、私のたましいをよみに捨ておかず、あなたの聖徒に墓の穴をお見せにはなりません。
- 11 あなたは私に、いのちの道を知らせてくださいます。あなたの御前には喜びが満ち、あなたの右には、楽しみがとこしえにあります。

# 説教

## 年頭礼拝に臨み 「私の前に主を置く」

詩編16篇 1 - 11節

竿代照夫 牧師



## 主テキスト

「私はいつも、私の前に主を置いた。主が私の右におられるので、私はゆるぐことがない。それゆえ、私の心は喜び、私のたましいは楽しんでいる。私の身もまた安らかに住まおう。」

(詩篇16:8-9)

# A. 詩篇16篇を味合う

## 1. 概観

- ①神は私の守り、幸い(1－2節)
- ②神に向かう二種類の人々(3－4節)
- ③私のゆずりである神(5－8節)
- ④明るい将来展望(9－11節)

## 2. 特徴: その明るさと積極性



## B. 主がすべてのすべて

### 1. 主は私の幸い

### 2. 主は私のゆずり

- ヨシュア時代の土地分割
- ダビデの土地獲得はあったか？  
: その逆が真
- 私たちの嗣業であるキリスト  
(エペソ1:3-4、11、18)

### 3. 主は私の守り

- 現在の祝福は将来に続くとの確信
- その確信はメシヤ復活の予言となる(使徒

2:27-32)

- ①ダビデの確信:死は支配者とならない
- ②ダビデの実際:死んで葬られた
- ③ダビデの子孫;その一人がメシヤとなる
- ④イエスがメシヤ:その復活によって証明

## C. 「主を前に置く」心の営み

1. 主の眼を意識して生活する

(詩篇139:2、24)

2. 主の助けと導きを絶えず仰ぐ

3. すべてのことを主への愛のゆえに行う

「日常の普通の営みを、神への愛を動機として行う」

<ブラザー・ローレンスの「神の臨在の実践」

([The Practice of the Presence of God](#)) >

おわりに

「主を前に置く」という心の営みを！